

TOSテレビ大分



所在地：大分県大分市春日浦843-25
 スタジオ面積：約277㎡
 施工者：東芝エルティエーエンジニアリング㈱
 更新完了年月：2016年1月

S368

1970年に大分県で2番目の民間放送局として開局したテレビ大分は、日本テレビ系列とフジテレビ系列のクロスネット局として展開。スタジオ設備は長年の経過で老朽化が進んできたため、調光操作卓の更新と照明器具のLED化が図られました。

制作スタジオの調光操作卓とLED HorizontライトおよびLEDフラッドライトなどを更新し、利便性を向上

今回更新された制作スタジオは、報道制作局、ニューススタジオと副調整室、出演者控室とともに1階に配置されており、2階には放送技術局、主調整室、見学者ロビーが設けられています。更新された制作スタジオでは、月曜日～金曜日の16:50～19:00に情報＆ニュース生放送番組「ゆ～わくワイド&News」、土曜日9:55～10:55に生放送情報番組「ハロー大分」を制作しています。

スタジオ番組セットが大きいためにスペースが限られ、既存と同等の大きさのLEDローアークライトを選定。また、ベースライトをLED化し、消費電力を少なくすることで無停電電源装置が利用でき、停電対策となっています。

既存の使い勝手を継承した調光操作卓 Versa Stationに更新。

調光操作卓 Versa Stationはコンパクトなコンソールで、調光信号はDMX/アートネットの切り替え方式とし、シンプル操作を基本としながら多種多様な演出要求にも対応可能。バックアップ機能を二重系から三重系にしたことで、生放送の安全性が一段と向上しました。

Horizontライトはハロゲン300W59台をLED140W76台に、蛍光灯ベースライト17台をLEDベースライト20台に更新し、熱量・消費電力とも改修前から60%軽減。また、LED化により高所のランプ交換やランプ破裂がなくなり使い勝手・安全性を高めています。

調光システムにRDM機能を採用。双方向通信で照明器具の点灯時間が把握でき、更新・交換等の管理業務が容易となりました。



スタジオ照明をLED化して大幅な省エネを図った制作スタジオ



調光操作卓 Versa Station



グリッドパイプに設置したLEDフラッドライトSタイプ
 LEDアッパー・ホリゾンライト

主な納入機器一覧

設置場所	器具名	形名	台数	備考
副調整室	調光操作卓 Versa Station	—	1	プリセットフェーダ40本×2段 17型TFT
	カラー制御システム	—	1	LEDホリゾンカラー制御 17型タッチモニタ
	RDM設定・監視用ノートPC	—	1	—
	D/A変換装置兼モニター棚	—	1	—
制作スタジオ	LEDフラッドライトSタイプ	AL-SQA-L	20	消費電力 159W/台
	LEDホリゾンライト アッパー	AL-LED-UH-4W-C	37	消費電力 140W/台
	LEDホリゾンライト ローアーク	AL-LED-LH-4W	39	消費電力 140W/台
	LEDキャストライト	CAS-01	7	消費電力 5W/台